

モニタリング結果報告書

施設 四季の森公園

指定管理者 横浜緑地・西武造園グループ

施設所管課（事務所名） 横浜川崎治水事務所

（平成 23 年度 下半期）

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

今期の利用者数は昨年同時期に比べて少ないが、これは寒さや天候不順による影響でありやむを得ない結果である。

今期は支出削減や自然保護の啓蒙を積極的に行うなど、本公園の特性を生かした取り組みを行い、また、事故や苦情の対応状況も適切に行っていることからB判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月10日	11月30日	○	○	×	なし	
11月	12月12日	1月6日	○	○	×	なし	
12月	1月6日	2月3日	○	○	×	なし	
1月	2月10日	3月1日	○	○	×	なし	
2月	3月12日	3月22日	○	○	×	なし	
3月	4月10日	4月24日	○	○	×	なし	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

- イラストや写真を多用した誰もが読みやすいパンフレットを配布する。また、また障害を持った方へのガイドを積極的に行う。22年度に製作した公園の花図鑑を求めやすい価格で来園者に提供する。また23年度は公園の生物図鑑作成の準備をする。

<実施状況>

- 車椅子参加の自然観察会の開催や、森林インストラクターを講師に、手話通訳が同行する紅葉の観察会を開催した。また、公園の自然に親しみ楽しんで頂くツールとして販売した花図鑑は1,255冊を購入頂いた。公園の生物図鑑を企画制作し、次年度に発刊できるようにした。

<提案内容の概要>

- 各ボランティアの意見を尊重し、お互い交流を深める場として連絡会を年2回開催した。23年度は連絡協議会の発足を目指し話し合いを行う。

<実施状況>

- 各ボランティアと協議し、次年度4月1日に「四季の森公園ボランティア連絡協議会」を発足し、四季の森公園まつりで、ズーラシア、新治市民の森愛護会等連携出店する決定をした。

<提案内容の概要>

- ビジターセンターなど公園の一角が、町の中の交流空間となるような「パークリビング」として多くの方を迎える。

<実施状況>

- ビジターセンター前にテーブルを置き、植物、動物情報やオタマジャクシなどの展示を行い、賑やかな空間を創出した。また、公園内にクイズ形式で季節の話題について設問を掲示し、答えを展示室で解説する方法で、里山ミュージアムを演出し、子供たちに好評であった。

<提案内容の概要>

- 会員向けのメールマガジンを発信し、季節イベント情報等の提供を検討する。

<実施状況>

- 会員向けのメールマガジンは22年の末に開始し、第63号を継続発信した。

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	90,259 (90,259)	78,330 (78,330)	0 (0)	11,929 (11,929)	90,259 (90,259)	0 (0)
下半期 予算額	43,932	39,000	0	4,932	45,125	△1,193
10月	6,216	5,071	0	1,145	6,213	2
11月	9,367	8,475	0	892	9,542	△174
12月	6,689	6,304	0	385	6,101	588
1月	6,617	6,205	0	412	6,464	153
2月	5,434	5,027	0	407	5,715	△281
3月	8,387	7,918	0	469	9,538	△1,151
今年度 半期計	42,712	39,000	0	3,712	43,574	△862
前年度 同期計	43,706	39,369	0	4,337	45,116	△1,410

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比 30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	0	該当なし
下半期	0	該当なし
総額	0	

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

→該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	114,781人	115,120人	△0.3%
11月	53,170人	57,990人	△8.3%
12月	30,158人	32,804人	△8.1%
1月	30,306人	32,909人	△7.9%
2月	30,112人	30,486人	△1.2%
3月	38,404人	30,438人	26.2%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	人	369,972人	381,776人	%	△3.1%
今年度下半期計	人	296,931人	299,747人	%	△0.9%

利用状況に関する意見等

- ①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）
- ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
- なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①② 該当なし

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
下半期報告						
合計	16 (1)	5 (0)	1 (0)	1 (0)	25 (0)	48 (1)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・洋式トイレにしてほしい	・県に意見報告する
	・展望台の展望を確保してほしい	・県に意見報告する
職員対応	・売店の職員の態度が悪い	・委託業者に改善を指導。（管理者常駐指示）
	・ネコの家撤去したのはひどい	・（書き置きだけで対話できず）
事業内容	・送迎バスを走らせてもらいたい	・検討中
	・注意事項、子供でもわかるように	・絵を入れて説明するようにする
その他	・公園を全面禁煙にしてほしい	・禁煙協力の園内放送を実施している
	・犬の糞への苦情	・放送等でマナーを呼びかけ

8 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
3月13日	ジャンボ滑り台の閉鎖・注意看板破損	緑警察署に通報、新規に看板を制作	巡回による声かけを積極的に行うことを実施
3月30日	ジャンボ滑り台の閉鎖・注意看板破損	緑警察署に通報、新規に看板を制作	夜間巡回警備の見直しと職員による巡回を徹底することを実施

9 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

→該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>下水道料金において、じゃぶじゃぶ池循環の自然蒸発分控除が開始され、水道代の縮減が行われた。</p> <p>また、公園施設の大きな修繕が無く、材料を購入し直営修繕でまかなえたことで、当初見込んだ施設管理が減額となった。</p> <p>花図鑑の販売や自然観察会を通して公園の自然や希少種の保護啓蒙に努め、生物図鑑の準備を進めることができた。</p> <p>本年は大きな事件事故が無かったものの、春に看板等の破壊が度重なり、当公園ではこれまで無かった犯罪傾向が表れた。警備計画、巡回、地域の協力による防止へのさらなる取組が必要である。</p>
施設所管課	<p>利用者については3月だけは昨年の大震災による利用自粛に比べて26%増となっているが、下半期全体では約0.9%減であり、これは寒さや天候不順の影響であり、やむを得ない結果と思われる。</p> <p>水道代の縮減や直営修繕を行うなど支出削減を行ったことや、自然保護の啓蒙など、創意工夫を行う姿勢については評価できる。</p> <p>また、公園施設の破壊などの悪質な行為が増えつつあるので、夜間の巡回警備等を含めてパトロール体制や声かけ等の徹底を更に行うよう指導していく。</p>